

NPO法人 おこしやす“やましな”協議会

おこしやす “やましな” ニュース vol. 7



発行：平成20年4月

事務局：山科経済同友会TEL501-1818, FAX501-2220

山科区役所総務課TEL592-3066, FAX502-1639

1 観光マップの作成～山科区の魅力を紹介～

○詳細マップ「やましな探訪記」が完成！

観光振興プロジェクトチームにおいて検討を進めてきたマップ「やましな探訪記」がこの度完成しました。マップは16ページのフルカラーで携帯に適したポケットサイズの大きさです。

表紙に掲載された随心院所蔵の「蘭亭曲水図屏風」(重要文化財)が鮮やかです。内容は、区内の著名な史跡(毘沙門堂、徳林庵、大石神社、随心院、勧修寺など)を、ビジュアルを重視して紹介。また、観光客のニーズの高い史跡周辺の飲食店についても、史跡から御推薦いただいたお店を掲載しています。

そのほか、史跡にまつわるコラムや安祥寺、山階寺などを豆知識として紹介しています。

3万部を作成しており、山科区への観光客の誘致を目指し、JR西日本の主要駅や京都駅観光案内所などで配布していきます。



○簡易マップ「おこしやすやましなマップ」改訂版を作成

昨秋に作成し、好評を博した「おこしやすやましなマップ」については、新たな情報を盛り込んだ改訂版を作成しました。早速、この春、山科区老人クラブ連合会が実施された山科駅前の観光案内で観光客に配布されました。

2 案内板を区内各所に設置～観光客を分かりやすく案内～

○山科駅前観光案内板



観光事業プロジェクトチームにおいて、デザイン等を検討し、JR山科駅前の柱を活用した案内板を設置しました。既に目にされた会員の方もおられるのではないのでしょうか。

高さが約2m40cm、幅が約1mある4枚のパネルで柱を取り囲んでいます。正面に山科区の全域図、残りの3面で区内の主要史跡の概要と公共交通機関を利用した場合の行き方を紹介しています。

また、上段には協議会のロゴが、下段には疏水の桜や紅葉などの区内の美しい風景写真が掲載されており、駅を降りた観光客の目を引きまします。今後、山科を訪れる観光客の案内、誘導に大きな役割を担うことでしょう。

○山階寺跡推定地（やましなであとすいていち）の碑



中大兄皇子（天智天皇）とともに大化改新を成し遂げた中臣鎌足（藤原鎌足）。彼の山科における家である「山階陶原（すえはら）家」にあった持仏堂を起源とする山階寺は、奈良興福寺の前身です。

この山階寺の所在地は長年謎でしたが、昨年、京都大学の吉川真司准教授が古代の文献を調査し、山科駅西南地域（御陵大津畑町）を中心とした地域にあったとの説を発表されました。

協議会では推定地に石碑と山階寺の概要を解説した石板を設置。3月25日に行われた除幕式では、出竿会長が「これを機に多くの観光客に山科の歴史を知ってもらい、お越しいただきたい」と挨拶を行いました。

○史跡設置案内板

区内の史跡6箇所（毘沙門堂、徳林庵、清水焼団地、大石神社、隨心院、勸修寺）に駒札形式の案内板を設置。案内板には設置場所の紹介のほか周辺の地図や近隣の史跡を掲載しており、観光客を歩いて次の史跡に誘導することを目指しています。

今後、案内板を活用した事業を企画・実施したいと考えておりますので、会員の皆さんもアイデアがあれば事務局まで御連絡ください。



3 JR山科駅前でキャンペーン活動を実施

3月28日、山科駅前で行われた観光案内板の除幕式終了後、出竿会長をはじめ、役員の皆さんが中心となり、観光客に対するキャンペーン活動を行いました。

広報宣伝プロジェクトチームにおいて作成した水色の揃いの上着を着用し、駅を利用する観光客に「おこしやすやましなマップ」を手渡し、山科区の魅力を紹介しました。

今後、同じ色ののぼりも作成することとしており、京都駅や東京などでのキャンペーン活動についても検討していきます。

